

(別紙2 - 1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25 年 3 月 1 日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4270500772		
法人名	有限会社 タケタニ		
事業所名	グループホーム「まごころ」		
所在地	長崎県大村市古賀島町 120 - 15		
自己評価作成日	平成 25 年 1 月 10 日	評価結果市町受理日	平成 25 年 3 月 11 日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	
--------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目七二一七 島原商工会議所 一階
訪問調査日	平成 25 年 2 月 19 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none">・緩やかなりハビリ階段を上れば、大村湾に浮かぶ長崎空港が心を癒してくれます。・平坦な立地で散歩コースとしても最適です。地元古賀島町内の温かい優しさに包まれた暮らし。毎年の夏祭りへも歓迎して頂いております。・日常的なレクレーションと機能訓練の実施。個々の能力と状態に応じて、個別・グループでのレクを行い工夫しています。・季節に関らず、可能な限り外出(外気浴・散歩等)や日光浴の支援。・意向や嗜好に沿った楽しみ会の実施。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>新しい、介護方法や知識は既定に拘らず、柔軟に取り入れ対応されるなど、入居者本意とした取組みがなされている。また、2カ月毎に「まごころだより」を家族等へ送付され、入居者個々に編集され、受け取られた方の気持ちになって作成されている。「スタッフからの一声」で入居者のホームでの様子が窺い知れる。ホーム長等はスタッフ育成(職員面接等)に力を入れておられ、資格取得やスキルアップのための支援(研修、資料や勤務配置等)に取組まれている。</p>

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	代表者の手書きの理念を掲示しています。職員や来客にも目に付く玄関付近に設置、職員も日常的に目にしています。自然と理念を意識し介護の実践が出来ていると思います。	採用時研修で理念の内容を細かく説明し、理解できるまで指導されている。なお、スタッフ研修会で理念を再考することで、取組の方向性を確認している。また、スタッフの基本方針が示されている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	祭りの参加や日常的な散歩等で町内の皆様とふれあう機会も多い。開設10年目を迎え町内からの「まごころ」への認識が少しずつ高まっています。	法人代表がホーム開設前から地元で事業をされておられ40年来の深い繋がりがある。地域祭り等の運営にも積極的に携わり、入居者も当日は祭りに参加している。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の様々な研修・会合に関わりながら、認知症ケアの啓発に努めている。人材育成の貢献として、高校生の実習生受け入れやハローワークのトライアル雇用も行っている。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	年度内6回開催。活動報告や様々な議題の中で意見や感想も多く頂いています。職員の会議へ参加の機会も設けており、貴重な意見をサービス向上に活かせるよう取組んでいます。	参加メンバーの枠組みに拘らず、近隣住民やスタッフの参加等、開かれた運営推進会議となっている。時には、運営推進会議の中で地域行事とホーム行事の合同開催等の検討がされるなど自由闊達な意見交換の場となっている。	
5	4	市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	日頃より市の担当者とは、相談や問合せ等で連絡をとっています。又、相談員の受入れ、運営推進会議への参加を頂く等各担当者とも交流を行い協力関係を築いています。	市や地域包括センターとの連携が図られていて、ケアプラン作成や見直し等において、介護度認定や更新時の情報を提供いただくなど、信頼関係が構築されている。	

6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的なホーム内の研修の実施及び外部研修への参加の機会を作っています。日中は、玄関は施錠せず、センサーを活用しています。ベット柵の使用も適切に実施しています。	言葉の掛け方、車椅子の使用方法等日常の中の具体例を捉え、管理者やスタッフ間でその都度、注意喚起を行って、身体拘束に繋がらないように取組まれている。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束と共にホーム内での研修を実施しています。知識を深め日頃行っている些細な対応を見直し高齢者虐待防止に努めています。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	個々の自己啓発や外部研修の中で権利擁護に関して学ぶ機会を持ってもらっています。必要に応じ随時、職員へ適切なアドバイスをするなど支援しています。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時、契約事項を含め重要事項説明書の内容をしっかりと説明し同意を頂いています。なお、制度の改訂や利用料等の改定時においても十分な説明を行っています。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時、日頃の様子等を報告し、家族の話を聞くよう心がけています。又、ケアプラン作成時には、家族の意見や要望を確認し、援助内容に活かしています。入居者様の意向に沿った楽しみ会も実施しています。	家族面会時を利用することが多々あるが、随時、電話での対応が行われている。入居者からは日々の中から把握に努めている。運営に活かされたり、実践された内容等は記録として残されている。	
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	朝礼や会議の中でスタッフの意見を聞いたり、意見箱も設置しています。職員の意見に基づいたイベントの企画や日常の業務・ケアの改善に反映させています。	管理者等とスタッフの現場の声・意見交換の場として、スタッフ会議が設けてある。また、ホーム長から諸手当を現金支給（給料の基本部分は振込）する際、職員面接が行われ私生活や資格取得等について対話が行われている。	

12	<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>勤務態度や面接等で状況の把握に努めている。経験や資格取得に応じた給与体系も確立。職員がリラックスできるスタッフルームも完備し休憩や勉強部屋として活用している。</p>		
13	<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修に配慮した勤務シフトを作成。新人研修には指導職員が個別に対応し技術・業務の習得や共有に努めている。スタッフ個々のキャリア、力量に応じた研修の提供も行い積極的な受講を促している。</p>		
14	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>連絡協議会や様々な会合に参加し、同業者と交流し関係を深めている。病院からは、相談員の訪問もありネットワークも広がっている。入居者や職員の紹介などの情報を頂いています。</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>相談があった場合、必ずご本人と向き合い、心身の状態やご本人の思いにふれ、安心されるよう話を傾聴している。入居前に生活歴等情報を職員間で共有し入居者様の対応へ繋げています。</p>		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>契約時、ご家族へグループホームを理解頂けるよう十分な説明を行います。家族の状況も把握しつつ、家族とホームが上手く連携し支援を頂ける様な関係作りに努めています。</p>		
17	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>当ホームへの利用申込みをされた場合でも、利用者様の状態から、本当に必要で適したサービスの提案を行い、状況に応じ他事業所ケアマネと連携し適切な対応に努めています。</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>家庭的な環境の中で職員と入居者様との関係作りを行っている。尊厳を守りつつ親しみのある言葉でケアを実践。一緒に出来る事は、共に行い掃除・洗濯・料理等アットホームな関りを心がけている。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族とは、連携を密にし、状況により電話や面会時に報告や相談を行っている。可能な限り、ふれあう機会を設けて頂き、我々と共に本人を支援していくような関係を築いている。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>墓参りや法事、実家へ出かける等馴染みの場所や活動は、可能な限り家族の支援を頂きながら継続して頂いている。家族以外の友人や近所の方の面会も歓迎しています。</p>	<p>家族面会に目的や計画（お盆や正月帰省等）を促すなど、入居者との絆や関係の継続に努力されている。また、「ご家族とのふれあい、あしあと帳」を入居者ごとに作成され、後々、写真や家族・知人のメッセージを入居者に見せ回想していただくなどの工夫がされている。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>入居者同士の関りには、常に目を向け注意深く観察しています。入居者間の相性や能力等を勘案し適切な関りを援助している。必要に応じ食事の席や援助の変更も実施している。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>入院で退去される場合、職員は、面会・お見舞いに伺い、状態を把握し他の職員と共に情報を共有している。職員間で可能な限り面会を継続し必要に応じ本人やご家族との関りを行う。</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>日々の関りの中で意向を把握しています。好みの料理を献立に入れたり、演出を凝らした楽しみ会も実施しています。訴えが困難な方は、言葉や表情で推し測り検討の上対応している。</p>	<p>スタッフにはケアプランに入居者と過ごす時間を位置づけ、意向や要望の把握に努めている。管理者等は食後のひと時を入居者との会話を日課として取り組んでいる。</p>	

24	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>事前に生活歴や今の心身状態、家族の介護力等をお聞きし、その情報を管理者が職員へ説明を行う。又情報をいつでも閲覧出来るようにファイルしている。</p>		
25	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>個別に介護日誌（日勤・夜勤）を作成。生活(食事・睡眠・排泄等)の様子や医療に関する援助等を記録する。必要に応じいつでも閲覧し状況の把握と対応ができるようにしている。</p>		
26	10 <p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>毎月、全スタッフが分担し対象者のアセスメント等の資料を提出。集約し参照の上、ケアプラン原案を作成し本人・家族の意見や要望を踏まえケアプランを作成。本人・家族・スタッフの思いが援助内容に反映している。</p>	<p>ケアプランの見直し（更新）の際、スタッフ全員がアセスメントを行い、管理者等でアセスメント要約表が作成される。全体カンファレンスを行い、ケアプラン案を作り、家族の意見・要望を取り入れるなど、全員が携わる方法が採られている。</p>	
27	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>介護日誌は、様子やケアの実践状況が把握でき、ケアプランの実施状況も一目で確認できるよう工夫している。いつでも閲覧できるよう保管しており、必要に応じ確認し情報の共有に努めている。</p>		
28	<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>年齢や好み、能力等の違いから、状況に応じ個別やグループ別の活動やレクの提供を行っている。レクの内容も入居者様のニーズや能力等を把握した上で新たな事を試行錯誤し実施中。ニーズに対応した楽しみ会も適宜実施しています。</p>		
29	<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>運営推進会議の構成員には、町内会長や民生委員の方等が含まれ、会議等を重ね認知症高齢者への理解を深めています。近隣住民の非常時での応援体制も確立。又歌の教室の先生や地域の皆様から多くの支援を頂いています。</p>		

30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医の受診を基本とし、希望があれば柔軟に対応しています。必要に応じ、脳外科等の受診も支援し、主治医と併行して医療との連携を密にし関係を築いています。</p>	<p>希望での主治医変更はあるが、かかりつけ医との繋がりが保たれている。また、専門医の主治医の変更はなく受診等継続した支援が行われている。</p>	
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日常の体調や些細な変化も見逃さず観察する事を意識付けています。異常に気付いたら、看護職員・管理者へ報告を義務付け、適切な医療へと繋げています。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>医療機関とは、日頃より連絡を密にし、関係を築いている。入院時は、情報提供を行い、入院中は各職員が連携して面会に伺い、医療機関やご家族と回復状況等を情報交換しています。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に重度化や看取りへの指針について説明を行っています。実際に重度化された場合、ご家族の意向や主治医の指示を総合して検討し、ホームとして出来る事、出来ない事を十分な説明を行い対応しています。</p>	<p>過去に看取り経験があるが、経験が生かされず、看取りに対応する体制作りができていない。なお、ホーム長等は終末期からの看取りを行う意欲が窺える。</p>	<p>スタッフの知識取得・意識付け等の研修等、育成やマニュアルの作成が望まれる。また、家族や医療機関等との連携など、看取り体制の構築に期待したい。</p>
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>ホーム内、外部にて救急対応の研鑽を行っています。最近では、市内GHスタッフ研修会へ職員5名参加。消防署にて心肺蘇生法やAEDの研修を受講。救急マニュアルも完備し、緊急時対応についても備えています。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防計画に基づき年間2回の消防訓練を行っています。又、日常業務の中に避難訓練を定期的に取り入れ、日頃から誰もが対応できるよう取り組んでいます。非常時に備え、災害時の避難場所の確認と確保、食料・飲料水の備蓄を行っています。又、各入居者の情報（個人情報・医療情報等）を一冊に纏めた緊急ファイルも作成しホーム外に保管しています。</p>	<p>毎月、自主避難訓練が実施されている。消防署立会いの避難訓練には地域住民も参加し、初期消火等の練習が行われている。火災発生の際、自動通報装置に隣近所の住民の協力者宅が登録され、地域住民間の連絡体制が構築され、入居者の避難誘導、見守り等の協力が得られる仕組みとなっている。なお、ホーム長宅には入居者の基本的情報が保管管理されている。</p>	

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりへの尊厳を重視し、言葉かけは、敬語を基本としています。丁寧な中でも、親しみのある言葉を使うよう、心がけています。特にプライバシーには配慮を行い、さり気ない言葉かけを行っています。	入居者の生活・身体状態に応じた接し方や声掛けに心掛けておられる。入居者の拒絶（嫌がる）などは受容する姿勢を保つように配慮されている。また、羞恥心等に気遣った声掛けを実践している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	コミュニケーションをまめに図り、誰もが意思表示が出来るような関係作りに努めている。個々の症状や個性を十分理解した上で、相手に応じた対応を心がけている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日のスケジュールは決めているが、個々の生活リズムやペースも尊重している。睡眠状況や体調により起床や食事時間を調整したり、入浴も拒否が強ければ無理強いせず別の対応で支援している。又希望に沿った献立や活動も適宜対応している。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	個々の生活習慣に合わせ、行事・誕生日などの際はおしゃれやお化粧をして楽しんで頂いています。又毎月1回、ボランティアで美容エステの先生方に来て頂き、肌の手入れやお化粧で満足した時間を過ごして頂いています。本人らしさや好みを把握して支援しています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の能力に応じた調理や後片付けの参加をの場を提供している。好みの献立を取入れたり、演出を凝らした料理（鉄板焼・手作りおやつ等）も適宜実施し楽しみの一つとしています。	栄養や献立バランスに配慮した、1週間分の献立パターン表を作成し、話し合いながら献立を決めている。時間が掛かっても入居者のペースで食事していただいている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取状況は、毎食時観察し記録している。個々に応じた適切な食事量を全スタッフが把握しバランスの良い食事作りを行っています。水分補給は、1時間毎にこまめに対応している。		

42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>個々の能力や口腔内の状況に応じた方法にて援助を行っている。研修にて習得した新たな清掃方法を入居者様の状態に応じ取入れるなど、細やかな援助を心がけている。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>自尊心に配慮し、様子を察知しながら援助を行っている。トイレでは、ペースに合わせ、ゆっくり排泄できるよう援助を行っている。尿意がなく管理が必要な方へは、パターンに応じた間隔でトイレに案内する。排泄機能の変化に応じ、下着や排泄場所等の検討もまめに行い、低下に繋がらないよう注意をしています。</p>	<p>リハビリパンツから布パンツへの移行取組みを行い、改善された方もおられるが、排尿障害疾病のため布パンツへの移行が難しい方もいる。リハビリパンツやオムツの方には排泄チェック表によるトイレ誘導の他、陰部洗浄等の清潔保持に取り組んでいる。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>全員の排便管理を徹底し記録と連携を行っており、排便状況を全スタッフで共有しています。便秘対策として、ラジオ体操等の軽運動やこまめな水分補給、ヨーグルト等の乳製品や食物繊維の多い料理の提供を実施しています。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>衛生保持のための目安として入浴日を決めているが、入浴に際し、本人の体調や予定、意思により入浴の時間や日にちを変更したりする等柔軟な対応をしている。入浴の援助内容も個々の症状やADLに応じた援助を行っています。</p>	<p>基本的に入浴日と入居者の割り振りを行っているが、希望や失禁等があればいつでも入浴できる体制となっている。発熱や入浴拒否の場合は無理強いせず、清拭と下着交換を、必ず実施している。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>個々の生活習慣や体調等を考慮した就寝の援助を行っています。就寝前には、相手に応じたふれあいを行い、温湿度等の環境面にも配慮している。夜間の快適な睡眠のため日中、活動的な時間を過ごされるような援助を行っています。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>一人ひとりが服薬している薬は、全職員認識できるよう努めている。薬の変更や服薬の仕方等の変化に応じた確に申し送りを行い全職員が把握できるようにしています。副作用についても把握し全職員で観察し症状の変化を確認するよう努めています。</p>		

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>一人ひとりの生活歴を全職員が把握しています。経歴や能力、趣味嗜好に応じ、それぞれが持っている能力を発揮できるような作業や役割を提供しています。能力やADLの変化により作業内容や量を変えて適度の役割を担って頂いています。感謝の言葉も忘れずかけています。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>季節に関らず、日常的な散歩や外気浴の援助を行っている。希望や意思を確認し対応している。体制によりドライブやショッピングセンターへも出かけることもある。家族との外食や受診等の支援も大いに支援をして頂いております。</p>	<p>家族面会の時に外出を促したり、ケアプランに家族協力を位置づけ支援に繋げている。日光浴・外気に触れるため散歩を日課として取り入れている。また、2階への階段での移動が、歩行のリハビリとなり、日課となっている。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人の状態やご家族の意向を踏まえ対応しています。ご家族からそれぞれ小口のお金を預らせて頂き、必要に応じ身の回り品等の購入にあてています。買物や外出時に必要分のお金を持って出かけ本人の好みの買物も支援しています。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>本人の要望や状態の変化に応じ、随時お互いに電話でのやり取りを支援している。遠くの家族様からは、お手紙の支援を頂くような支援もお願いしています。家族とのやりとりで精神的にも安定されています。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用しやすいレイアウトで家庭的な物を利用しています。季節ごとに飾りを替え、季節感を出しています。台所は、オープンで食事作りの音や臭いを感じて頂けます。食事の配席は、状態の変化に応じ、混乱を招かないよう注意し変更をしています。</p>	<p>窓からは広い空間や空、長崎空港を眺望でき、自然光が射し込み穏やかな空間となっている。気になる方は、近くの飛行場からの音が多少心配される程度で心地良く過ごせる。畳の間が設けてあるため、足を延ばすこともできる。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>2階の談話室は、景色も良く最高のロケーションです。気分転換や景色を楽しむ空間として、気の合う者同士や一人でも過ごすことができます。</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人やご家族の意向を踏まえ、居室へは馴染みの家具や仏壇等落ち着いて暮らせるような物を持ち込んで頂いています。それぞれの状態に応じたベットや家具の配置や温かい雰囲気作りへも配慮しています。	フローリングと畳の部屋とになっていて、調度品の配置などで快適な部屋が入居者の好みに応じ創造できる。馴染みの物の持込みは入居者の自由となっている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	座敷は、高齢者の腰掛けに最適な高さ(40cm)です。車椅子の自操に支障の無いよう配慮しています。居室のベットの位置は、個々の状態に応じた配置を行い自立と危険防止に努めています。		
アウトカム項目					
56		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	
57		利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	
58		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
59		利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
60		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
61		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
62		利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
63		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない	

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3, たまに
		4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3, あまり増えていない
		4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3, 職員の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3, 家族等の1/3くらいが
		4, ほとんどいない